

としよかん だより

2025. 2 NO.238

宍粟市立図書館

〒671-2576

宍粟市山崎町鹿沢81

TEL 62-4620 FAX 62-9688

<https://www.ik.licsre-saas.jp/shiso/>



木 にてあい 木 にふれ 木 にまなぶ



2月から市内図書館・図書室では
「木にてあい 木にふれ 木にまなぶ」をテーマに
森林に関するパネル展示や参加型企画を行います。
ぜひ、お越しください。

宍粟市立図書館に、
森林に関する本のコーナーを設置しました。
里山保全や森の動植物に関する本、
アウトドアについての本など、
森に親しみ、森について学べる資料をそろえています。

※このコーナーには、森林環境税を活用して購入した
本を展示しています。

【一部を紹介】

- ・『山里の生活実験』
サステナブルな暮らしを見つける』
丸山哲史著 かもがわ出版
- ・『クマはなぜ人里に出てきたのか』
永幡嘉之文・写真 旬報社
- ・『巨樹・巨木図鑑 一度は訪れたい、全国の大樹たち』
小山洋二著 日本文芸社
- ・『さーやんのゼロスキルキャンプ飯 140』
さーやん著 光文社



【図書館に森を作ろう】

児童書コーナーの壁に
森の生き物を飾り付けて
楽しい森にしよう！

- ・申込不要
いつでもご参加いただけます



森林に関する本のコーナーから
本を借りられた方に宍粟市産の杉を使った
記念品をプレゼントします（先着 100名）

森林に関する本を読んで森林環境ポイント(エコぽ)を貯めよう！

宍粟市森林環境ポイント事業「やっちゃえ！エコぽ！」では
森林に関する本を1冊読むごとに100ポイントが付与されます。（上限年間 10冊）



▲エコぽ！案内ページ



詳しい参加方法や、その他のポイント付与項目は、
「やっちゃえ！エコぽ！」ホームページをご覧ください。

宍粟市 エコぽ



こんな本あります 『 積ん読の本 』

石井 千湖 著
(主婦と生活社 2024年刊)

「積ん読」と聞いて気が重くなる人もいるかもしれませんが。この言葉は単に本を積み上げている状態をさすのではなく、「読んでいない」「読めない」といったニュアンスを含んでいます。まだ読んでいない本があるのに、新たに本を入手してしまうのはどうしてでしょうか。本書には、翻訳家、小説家、書店員といった本に深く関わっている12人へのインタビューが集められています。本の達人たちの蔵書との関わり方から、積ん読や読書の本質に迫ります。

文筆家で大学教員でもある山本貴光さんは年に2,000冊から2,500冊の本を購入しています。ほとんどの本は、ざっと目を通し内容をつかむと積ん読の仲間入りをするそうです。けれども、その本が身近にあることに意味がないわけではありません。山本さんは「本

は自分の関心事が物の形をとった、知識のインデックスみたいなもの」と言い、普段からその本を目にしているからこそ、必要になったときにすぐ手にとれると考えています。それは、「そこにある本の背表紙を時代順に並べるだけで、ちょっとした年表ができる」とい言葉にも表れています。とは言え、紙の本には置き場所の問題があります。そこで、10,000冊ほどをデジタル化しましたが、パソコンなどの端末がないと読めなかったり、何の本が入っているかすぐに思い出せなかったりと不便だったそうです。

屋外用収納ボックスに入れられベランダに置かれた本。けもの道だけを残して部屋を埋め尽くす本。掲載された写真を見るだけでも、積み上がった本の存在感に圧倒されます。紹介されている12人はそれぞれの基準で本を集め、それぞれの方法で本を保管していますが、共通して積ん読を肯定的にとらえています。本書を読めば、自分自身の積ん読を見直すきっかけとなります。ただし、興味深い本がたくさん紹介されていますので、積ん読が増えてしまうかもしれません。

子どもの本 69

「はなをくんくん」

ルース・クラウス ぶん
マーク・シーモント え
きじま はじめ やく
(福音館書店)

雪が積もった地面の下でのねずみはかたつむりやりの顔を出して、はなをくんくん。かたつむりが木の中からはなをくんくん。みんながはなをくんくんに話しかけていました。そして、みんながとまりました。そして、笑い、踊り、さけびました。そして、雪の中に、お花がひとつ咲いてるぞ！

繰り返して出てくる「はなをくんくん」という言葉で、何が待っているのか期待がふくらみます。春の訪れを喜びながら動物たちがあたたかなタッチで描かれていきます。読んでもらえば、三歳くらいから楽しめます。



ロシアの森では、るり色の春も、みどりの夏も、黄金の秋も、そして真っ白な冬も、生き物たちとの思いがけない出会いが待っています。ある年の二月、雪の上にはミズメツグミの足あとを見つけた。ガリネズミの足あとを見つけた。た。例年なら岸辺に掘った巣と水の中。春を待つのに、その年は寒さが厳しく入江の水が底まで凍りつきました。藻や貝と重なった食料が手に入らなくなり、地上にたいてはできない体では地上で冬を越すこと入江に訪れてみると、ミズメツグミたちが水しぶきを上げて泳いでいたのです！

長年の観察を元に、森の生き物たちの暮らしが紹介されたエッセイ集です。著者は観察のことを「しあわせな狩り」と称し、森歩きを楽しむさを伝えます。動植物の特徴をとらえた挿絵が添えられています。



「北の森の十二月(上・下)」
ニキータ・チャルトコフ 作
福井 研介 訳 (福音館書店)

新着図書紹介

◆このリストは直近1か月に入った本の一部です◆

書名	著者	出版社	ジャンル
不器用解決事典 仕事も人生も、これでうまく回る！	中島 美鈴	朝日新聞出版	心理学
城下町姫路と播磨	播磨学研究所 編	神戸新聞総合出版センター	歴史
地図なき山 日高山脈 49 日漂泊行	角幡 唯介	新潮社	冒険
言いたいことが言えないひとの政治学	岡田 憲治	晶文社	政治学
こうやって頭のなかを言語化する。	荒木 俊哉	PHP研究所	話し方
老い方がわからない	門賀 美央子	双葉社	高齢者
これ一冊でOK! 「小1の壁」完全ガイド	うなぎママ	講談社	小学校
古代の酒に酔う 甕酒(かめざけ)造りの共創プロジェクト	庄田 慎矢	吉川弘文館	飲食史
ふるしき BOOK 1枚の布を結んでつくる50アレンジ	山田 悦子	グラフィック社	包み方
日常は数学に満ちている	三谷 純	山と溪谷社	数学
透析を止めた日	堀川 恵子	講談社	闘病記
麴づくりと発酵しごと 麴、味噌、醤油、甘酒、酒種パン、発酵調味料のレシピ	なかじ	農山漁村文化協会	発酵食品
オリーブオイルがある暮らし 美味と健康を支える魅惑のオリーブオイルの世界	有元 葉子	小学館	料理
化学的ポイントを知るとおいしい&作りやすいチョコレートレシピ	sachi homemade	翔泳社	菓子
トースターで作れる! 食べきりサイズのお菓子	松尾 美香	秀和システム	菓子
藤子・F・不二雄がいた風景	藤子・F・不二雄 原作	小学館	漫画家
かんたん楽しい季節の紙飾り	やまもと えみこ	日本ヴォーグ社	紙細工
高峰秀子と作家たち	高峰 秀子	河出書房新社	俳優
今夜も焚き火をみつめながら サバイバル登山家随想録	服部 文祥	ネイチャーエンタープライズ	登山
すごい短歌部	木下 龍也	講談社	短歌
王将の前で待ってて 句集	川上 弘美	集英社	俳句
下垣内(しもごうち)教授の江戸	青山 文平	講談社	日本小説
頼朝 陰の如く雷霆(らいてい)の如し	秋山 香乃	静岡新聞社	日本小説
デートピア 【芥川賞受賞作】	安堂 ホセ	河出書房新社	日本小説
翳(かげ)りゆく午後	伊岡 瞬	集英社	日本小説
夢燈籠(ゆめとうろう)	伊東 潤	中央公論新社	日本小説
高高度(こうこうど)の死神 怪獣殺人捜査	大倉 崇裕	二見書房	日本小説
飽くなき地景	荻堂 顕	KADOKAWA	日本小説
鎌倉駅徒歩8分、また明日 シリーズ(2)	越智 月子	幻冬舎	日本小説
京屋の女房	梶 よう子	潮出版社	日本小説
任侠梵鐘(にんきょうぼんしょう) 任侠シリーズ(7)	今野 敏	中央公論新社	日本小説
牧谿(もつけい)の猿 善人長屋(4)	西條 奈加	新潮社	日本小説
恋する女帝(みかど)	周防 柳	中央公論新社	日本小説
ゲートはすべてを言った 【芥川賞受賞作】	鈴木 結生	朝日新聞出版	日本小説
11ミリのふたつ星 視能訓練士野宮恭一	砥上 裕将	講談社	日本小説
秘仏の扉	永井 紗耶子	文藝春秋	日本小説
ヒポクラテスの困惑 ヒポクラテスシリーズ(6)	中山 七里	祥伝社	日本小説
蕎麦打ち万太郎	原 宏一	祥伝社	日本小説
暗黒戦鬼グランドイヴァー	誉田 哲也	KADOKAWA	日本小説
あの夏のクライフ同盟	増山 実	幻冬舎	日本小説
カメオ	松永 K 三蔵	講談社	日本小説
ロスト7	真山 仁	KADOKAWA	日本小説
PRIZE(プライズ)	村山 由佳	文藝春秋	日本小説
桜が散っても	森沢 明夫	幻冬舎	日本小説
そんなときは書店にどうぞ	瀬尾 まいこ	水鈴社	エッセイ
人生の壁 (新潮新書)	養老 孟司	新潮社	エッセイ
台湾漫遊鉄道のふたり	楊 双子	中央公論新社	外国小説
三部作	ヨン・フォッセ	早川書房	外国小説

予告

鹿革クラフト教室

宍粟の鹿革を使って、カバンなどのワンポイントになるタッセルチャームを作いませんか？

日時：3月26日(水) 13時30分～15時30分

場所：図書館2階

対象：中学生以上

定員：20名(申込順)

材料費：1500円

※要申込 2月25日(火)より受付開始



申込フォーム

展示

2月22日は、猫の日

ネコが登場する小説、写真集などを展示しています。ぜひ手に取ってごらんください。

『ニャンニャンにゃんそろじー』

有川浩 ほか 著



『世界で一番美しいネコがいる風景』

岩合光昭 著

読書会

月1冊本を選び、感想などを気軽に話し合っています。いつでも参加、見学できます。

日時 2月8日(土) (第2土曜日)

14時～15時30分

作品『おもかげ』 浅田次郎 著

★次回の作品

『読書会という幸福』 向井和美 著

えほん・おはなしのじかん

4歳以上の子どもが対象です。

えほん 8日(第2土曜日)

22日(第4土曜日)

おはなし 15日(第3土曜日)

10時30分からはじまります。

事前申込は不要です。当日カウンターで受付をしてください。

移動図書館ささゆり号運行予定

巡回場所	2月	3月	貸出時間
山崎町内	18日(火)	18日(火)	10時40分～14時
一宮町(学校・こども園)	7日(金)	7日(金)	11時～14時
一宮町内	15日(土)	15日(土)	9時30分～15時30分
波賀町(学校・幼稚園)	5日(水)	5日(水)	10時～15時
波賀町内	22日(土)	22日(土)	10時15分～16時
千種町内	19日(水)	12日(水)	10時30分～15時

本のリクエストも受け付けています



巡回形式のため時間によって貸出場所が変わります。

場所・時間に変更になることがあります。詳しくはお問合せください。

しーたん通信でもお知らせしています。



図書館カレンダー

2月

日	月	火	水	木	金	土
						▲
▲	8	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						✕
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

×休館：月曜日・祝日・年末年始
(月曜日と祝日が重なるときは、翌火曜日も休館)

△閉館：月末館内整理
特別整理期間 1/27～2/3

開館時間：

9時30分～17時30分

(金曜日のみ18時30分まで)